

## 平成26年度協働事業報告会（25年度事業実施分） 質疑応答

### 1 「障害者就労支援員(ジョブサポーター)養成・派遣事業」(市民活動団体提案協働事業) (かまくら福祉・教育ネット、障害者福祉課)

Q 発表での本音の部分が大事であると思う。その本音の声を生かせれば次につながり、新しいところがそれを参考にするのではないかと考えるが、そのあたりの考えはあるか。

A (団体) 通所の方については毎日向き合っているので分かるが、職労というと企業に雇ってもらっているので遠慮もある。企業に何か提供しなければいけないという思いが自分達にもある。生活のことでなかなか常識的に踏み込めない部分があるが、障害者の場合は踏み込んでいかなくてはいけない。大変なことこそこつこつと少しずつやらなければいけないと考えている。

Q 今年度は社会福祉法人に委託したとのことだが、何故、かまくら福祉・教育ネットではないのか。

A (団体) 自分達の組織は任意団体である。事業委託を受けるにはNPO法人等、組織をきちんと作らなくてはならない。法人化するのが大変であること、また、障害者の人生にかかわる問題であり、今の立場では社会的な信用が薄いと思ったからである。

Q 一人一人の子供への丁寧な対応は親の会だからこそ出来たと思う。障害者だけでなく色々な人が参加していることがこれからの広がりにつながると思う。提案だが、今、学校と現場でのギャップがある。今後は、学校に自分達の提案を申し入れるくらいの力をつけてもらいたい。